



令和元年8月20日（火）

# 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死予防に関する 山口県での新たな取組開始 ～おくすり手帳用シールで投与歴を明確化～

昨今の歯科医療において、骨粗鬆症や悪性腫瘍骨転移などの治療薬による顎骨壊死や抜歯後予後不良は増加傾向にあります。そこで、山口県内においても早期の対応が必要と考え、山口県歯科医師会は、山口県・県医師会・県薬剤師会・がん診療連携拠点病院との連携のもと、「骨吸収抑制薬投与中シール」を作成し配布しました。この顎骨壊死発症を未然に防ぐ取組を昨年11月より開始しました。



骨吸収抑制薬投与中シール  
(直径約4cm)

※山口県・山口県医師会・山口県歯科医師会・山口県薬剤師会の名称を記載

※骨と歯のイラストと抜歯注意マークを使用



## ◆シールの配布先◆

- ・ 県内保険薬局（749カ所）
- ・ がん診療連携拠点病院（9カ所）
- ・ 病院薬剤師会会員施設薬剤部（126カ所）

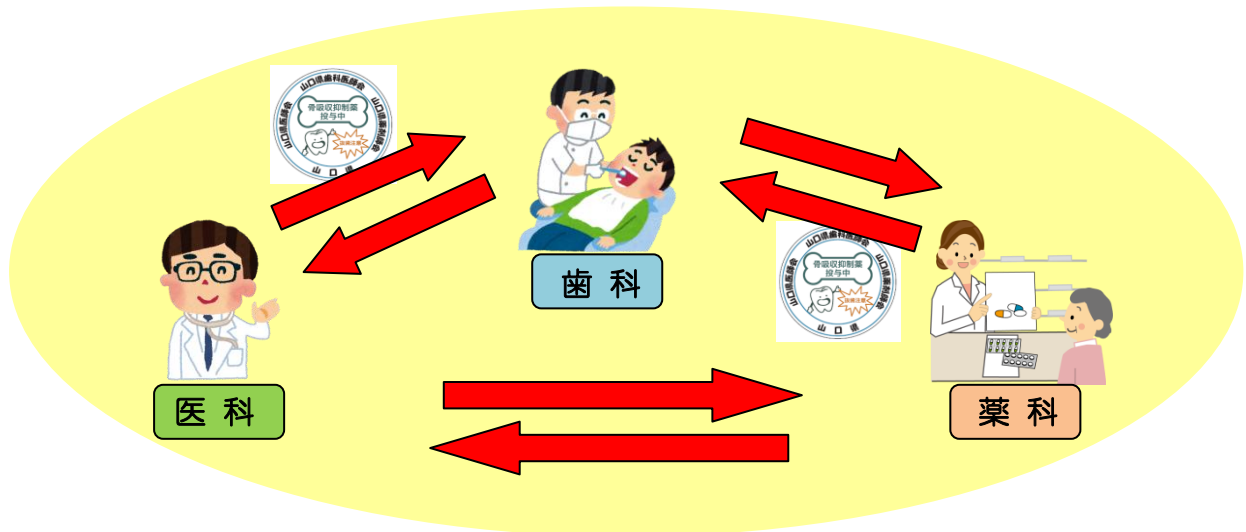
今回の骨吸収抑制薬投与中シール運用の主な目的は、医科・歯科・薬科が患者さんの情報を共有して連携することです。歯科医師は、不用意に抜歯などの観血的処置を行わないよう気をつけ、処方医は、薬剤の投与開始前に患者さんの歯科への受診を促し、不

良な歯の抜歯やむし歯・歯周病の治療、義歯の調整等を可及的に済ませておくよう指導することが望まれます。

骨粗鬆症や悪性腫瘍の骨転移を起こした患者さんにとって有益な骨吸収抑制薬を安全に投与していくため、「顎骨壊死」を起こさない、重症化させないためには日頃から口腔内を清潔にし、管理することが最も大切となります。

この度の、おくすり手帳用シールの運用により歯科を受診された患者さんが「骨吸収抑制薬投与中」であるという情報がひと目で分かり予防策となり得ます。山口県歯科医師会は、医科・歯科・薬科との連携を図り顎骨壊死予防に努めます。

本取組は、モデル地区として先行して行った山口県周南地区において、顎骨壊死による歯科口腔外科への受診患者の減少が顕著にみられました。今後、全県下においても発症数の減少が期待できるため、事業成果について調査研究を行う予定です。



●問い合わせ先

公益社団法人山口県歯科医師会 担当：河野

TEL：083-928-8020

FAX：083-928-8025

山口県歯科医師会ホームページ

<https://www.ygda.or.jp/>

